

第八章

十二運星を 実虚で理解する



第十章

実用運命学のまとめ



■ 実用運命学のまとめ

私も今から25年前は、市販されている本で占いを勉強し始めました。しかし、人間のことを、山とか木とか太陽や雨といった自然界のものに置き換えて語ることに、ひどく違和感を感じていました。何かやりにくいなと思いつつも、その時はそのまま覚えていったのですが、実際人をみるときに、それがまったく役に立たないことに気がつき始めました。

そこから、自分で実際に使える内容にどんどん置き換えていくとしたら、勉強したことのほとんどを捨てることになってしまいました。

みなさんも、こういった古典的な本で勉強してもいいのですが、まだまだ使えないものがたくさんありますので、それを今から説明していきます。

■ 運命学の原書には、「滴天髄」・「窮通宝鑑」・「神峯通考」・「子平錦秀集」といった著名なものがありますが、すべてが、明朝や清朝といった戦国時代に書かれたものです。

戦国時代に書かれた中国の原書は、自分達の王朝が破壊されたあとの王朝の人が、すぐに応用できるような本の書き方はしません。

そのままの形で文意を解釈すると、矛盾が発生し、実際には、使えないように工夫されています。

そして、口伝で読み方を教わった人だけが、原書の真髄を読むことができるように、巧妙に畏がしかけられているわけです。

◆相性理論は使えるか？

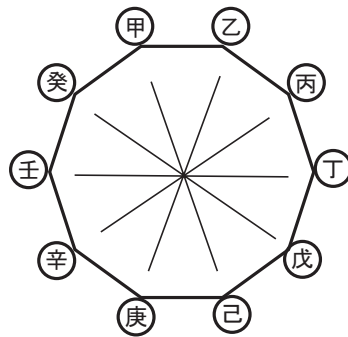
甲―己 乙―庚 丙―辛 丁―壬 戊―癸

といった干合干の原理がありますが、これは一切使えません。人間関係にも使えません。

というのは、この干合というのは、まったく性情が違う干同士を組み合わせです。

- * 甲の知性と、己の感情、
- * 乙の協調性と、庚の損得実利、
- * 丙の集中と、辛の辛抱
- * 丁の世話焼きと、壬の勝負、
- * 戊の義理人情と、癸の情報

このように、まったく違うのは、理解不能な相手が相性がいい



※四柱推命の相性診断では、干合の組み合わせのほかに、支合、三合などの地支を見る方法もよく使われています。しかし十二支の考え方では、この干合のように、真反対に位置するものは支沖といって良くない組み合わせとされています。

ということでしょう。

これはどういうことかというところ、よく善人ヅラした人が、『わかるよ、理解できるよ』と言いますが、それは嘘なのです。理解しようなんてのは、傲慢なのです。

甲の人が己の感情なんて理解できないし、乙の人が庚の合理性なんて理解できないのです。理解しなくていいのです。信頼すればいいのです。

信頼とはなんぞやというと、理解しないで認めることなのです。ただ**素直にそのまま認めれば**いいのです。それが相性がいいということなのです。『わからないけど信頼します』ということなのです。

例えば、私の場合、今から7年ほど前に株式投資を始めました。最初はいろんな先生について勉強したり、本を買ったり、セミナーに出たりしました。おそらく教材費だけで200万、300万は使ったでしょう。でも結局、信頼出来るという人は、50人ぐら

十二支の支合



子—丑
亥—寅
卯—辰
辰—酉
巳—申
午—未

*十二支の支合

■十二支で見る吉相性

いい先生の中で、たったの一人だけでした。

その先生の言うことは理解できませんでした。『もしかして、それじゃ、まずいんじゃないかな』、と思うときもありました。それでも最後には、理解しないで、そのままマネしました。今から数年前です。そしてこのマネをしたことが、今では成功しています。理解しないまま、認めて、信頼して、マネしたことが、今は成功しているのです。投資で成功しているのです。

ビジネスパートナーの、紅竜さんという方も、理解できません。理解できないまま、信頼しています。認めているのです。紅竜さんのやることは何をやってもいいのです。ああだこうだ、私は言いません。何をやっても信頼しているからOKなのです。失敗したら失敗したで、そこから学ぶことがあるでしょう。成功したらまた一段上がるでしょう。成功しても失敗しても、私はそこには関与しないのです。どちらにしても一段あがるのですから。

***十二支の三合**

金局三合 (巳酉丑)

火局三合 (寅午戌)



水局三合 (申子辰)

木局三合 (亥卯未)

※自分の内部で起きていることは、外部に投影されます。相性の善し悪しを占いで判断しようとする場合、自分の何がその相手に映し出されるのかを考えるのも一つです。

そういうのが、相性がいいということでしょう。ちつともわかわらないけれども、認め合つて自由にさせておく、それが信頼関係です。

『どうして私の思い通りにやらないの？』

『どうして私の思い通りにならないの？』

こういう思いがあるとかならずストレスになつて、うつ病になるのです。だから善人づらした人が、みんなうつ病になつていくのです。運命学で見て相性がいいから、結婚しようかなんて応用は一切無駄です。

◆適性理論は使えるか？

次に職業です。これも使えません。正官があるからサラリーマンがいいとか、比肩劫財があるから独立したほうがいいとか、財

自分の中の充実している部分と同じものを持つている人には充実感を感じ、不足している部分と同じものを持つている人には不足感を感じます。

相性を、いい悪いや吉凶としてしか見ないのは、実にもつたいないことです。

星があるから商売ができるとか一切関係ないです。

今の時代はどんな職業であつたとしても、やっていけるのです。正官なら正官の良さを發揮すれば、どんな職業でも、サラリーマンじゃなくても、自営業でもやっていけるのです。それほど今の時代は、この四柱推命が発見された一千年前と違いますし、職業もたくさんあります。要求される項目も要素もたくさんあるのです。職業を通變星とか占いでみて、なにになが向いているなんて、一切関係ないです。

そうじゃなくて、持っている星を全部発動させること、何が向いているのかじゃなくて、あなたはこんな星があるのに発動していないですね、というのが正解なのです。持っている星を全部発動させている人は、自分には何が向いているのでしょうかという発想にはなりませんから。

星が発動する

開運

向いてる、
向いていない
なんて
考えないで、
一生懸命やる

◆^{リクシン}六親理論は使えるか？

これも使えません。官星があると、女性にとつては夫、男性にとつては子供とみますが、使えません。印星があるとお母さんといいますが、これも使えません。財星があるとお父さんと言いますが、これも使えません。偏官があると、これは情婦、夫以外の情婦がいるとか、人間関係を、六親的な発想でやることは、むだな勉強です。

◆年運と月運は使えるか？

日干が甲の人で、年運に甲が来ると、比肩運ですよ、乙が来ると劫財運ですよ、丙が来ると食神ですよといえますね。これも実は使えないのです。

■六親

六親とは、通変星を血縁の関係に置き換えたものです。

*比劫…兄弟姉妹

*食傷…女性にとつて子供

*財星…父親

男性にとつて妻、女性

*官星…女性にとつての夫、男性

男性にとつて子供

*印星…母親

詳しくは、資料の六親表を参照ください。

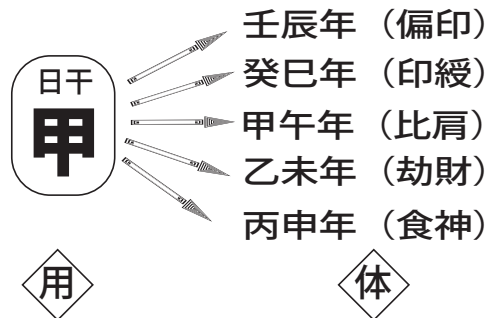
というのは、前提条件が、日干が用神、行運が体神になっているからです。つまり、日干から年運なり月運なりに作用するということですね。しかし自分が体神で、相手が用神の場合もあるでしょう。

どういふことかというのと、逆に見るのです。自分が木行の甲だとして、そこに年運、月運、日運が、丙で、火行だった場合、教科書的に言うと、木が火を生じるので、食傷の運ですよといえますね。ところが、年運の方を中心にして、一方的に働きかけているときはどうですか？印星になりますね。この食傷と、まったく真反対の象意になるのです。これは用神、体神をひっくりかえすということなのです。

古典的な用神・体神というのは、自分が『用』、年運や月運が『体』、ということですね。つまり作用するのは、あくまでも自分なのです。自分が、運に対して一生懸命働かせるということなのです。

財運が巡ってきたら、一生懸命自分で商売商売と、財を追いか

【自分（日干）から運に仕掛けていく】



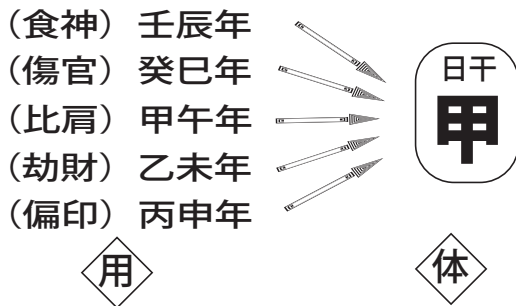
けまくって汗をかく。官星だったら、一生懸命、仕事ください、仕事やります、自分に鞭打ってくださいというように働きかける。というのが、自分が用神、相手が体神という発想なのです。

ところが世の中はそうじゃないですね。一方的に運がやってくるということが多いです。つまり、年運、月運が用神、自分が体神になっているのです。運氣の方を中心に見ると、甲と丙の場合、木生火で生じてもらう印星になります。だから、今年は食傷運だから、と言ってしまおうと間違うのです。もしかしたら、今年は印星かもしれないのです。

そうやってみると、比劫、食傷、財星、官星、印星、とあつた場合に、自分が用神になるのか、運氣が用神になるのかで、通変星は真反対になってしまいます。

だから、どっちがどう転ぶかなんてわからないのだから、予測しないのです。使わないのです。そんなこと考えているヒマがあったら、とにかく**やってきた運に乗る**のです。やってきたチャンスに乗るのです。そのほうが早いです。そういうのを芸海法という

【運から自分（日干）に仕掛けてくる】



のです。持って生まれた能力、持って生まれた才能を、全面的に、とことんまで極めるといのが、芸海法なのです。

◆身旺・身弱理論は使えるか？

これも使えません。身旺だから強運だとか、身弱だから弱運だとか書いてありますが、これも一切使えません。身旺でも自己破産している人はたくさんいます。古典的に身旺というのは、鈍重な奴が多いのです。鈍重だから今の給料20万だとしても、住宅ローンを10万で組んで、ずっと払っていったらどうなるかというの、計算できないのです。だから自己破産するのです。

これが強運ですか？ぜんぜん違うでしょう。身旺だから、身弱だから、という発想はぜんぜん使えません。身旺でも自己破産する、身弱でも大成功する、という世の中です。

■身旺とは、日干の五行が強い命式をいいます。

身弱とは、日干の五行が弱い命式をいいます。

■身旺・身弱の判断基準

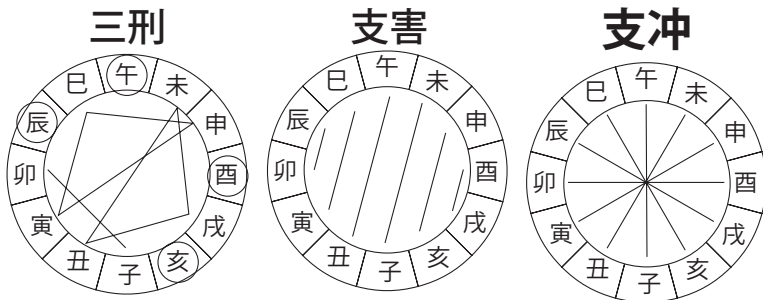
- ①月令の有無（日干と同じ五行の月に生まれているかどうか）。
- ②日干を基準として、命式全体の五行バランスを見る。
- ③十二運星の強弱をみる。

そもそも強運と弱運という概念もおかしいです。そうではなくて、耐性のある運勢かどうか、同じ現象に遭遇しても、耐性のある運なのか、同じウイルスに感染しても、簡単に死んでしまうような耐性のない運なのかで判断します。当然、耐性のある運を作ってほしいのです。

市販されている本をパラパラめくっていくと使えない理論もいっぱいあります。十二支の組み合わせもいっぱいありますが、これも使えません。三刑とか害とか色々ありますが、使えません。十二支の関係で、害とか、沖とか使えません。格局とか、用神とか体神とか、一切使えません、これを決めないと、吉凶が決定できないからという理由があるのですが、吉凶そのものが使えないのです、

最初にやったように、数値を出して判定すると運がなくなりますが、運がなくなってもいい人は、どんどん使ってください。

■相性の悪い十二支関係



空亡、これも使えないです。空亡とは、スイッチングです。これまでの運とこれからの運にスイッチする瞬間です。その時何をやるかが大切です。それによって、その後の運が良くなるか、悪くなるかが決まってくるのです。それまでなにをやってきたかで決まるのです。空亡のせいじゃありません。

◆月令理論は使えるか？

夏の暑い日に生まれた火の人は、月齢を得ていて身旺だと書いてありますが、これも身旺だから吉、身弱だから凶と言いたいから、こういう概念が出来上がったのです。当然、これも使えません。月齢があつても自己破産している人、いっぱいいます。病気になるっている人いっぱいいます。だから使えないのです。

何度も言いますが、甲を大樹、乙を草花といった自然現象に例

■空亡表へ

空亡解釈の古典的事例

- * 空亡の年、月、日、時間には十分な力が發揮できない。
- * 日柱の空亡が年柱にあると、先祖縁が薄い。
- * 月支が空亡だと親縁、姉弟縁が薄い。
- * 時柱が空亡だと子ども縁が薄い。
- * 男性の日柱と、女性の日柱がお互いに空亡だと、互換空亡といい離婚しやすい。
- * 日柱が甲戌、乙亥は日座空亡といい結婚運が悪い。
- * 年柱の空亡が月、日、時にあると、トントン拍子に出世する。など。

(四柱推命完全独習・三照山を参考にしました)

える四柱推命は使えません。自然現象に直した瞬間、おかしくなります。

調候、これも使えません。寒い冬に生まれたから、調候用神で丙が必要、これも一切使えません。

使うのであれば、壬で寒い冬に生まれていた場合、壬は勝負勝負で勝ちにいきたい、というのがありすぎるから、ほかからでカリスマ性のある丙も欲しいですね、というのであればいいのです。

通変星を見る場合は、もうわかりですね。十干そのものを、陰と陽、実と虚と分類できます。そして1600通りの通変星のパターンをもうマスターしているのですから、それを使いましょう。

『虚』はだめですよ、真剣に生きていないのだから。それを『実』にするのです。陰と陽は、どちらも持っているのです、それを出せばいいだけです。

そして、結婚も、男から見ると妻は財星です。それは、押さえ

■旺相死休囚

日干の強弱を、月支との生剋で見る方法。

*旺…日干と同じ五行の月

*相…日干が生じられる月

*死…日干が剋される月

*休…日干が剋す月

*囚…日干が生じる月

つけるからです。夫は女性から見ると官星です。押さえつけられるから、という理由です。これも一千年以上前の中国の理論です。今は女性からプロポーズすることもあるでしょう。男性が待ち受けのこともあるでしょう。だから、財星の時じゃないと結婚できないのではなく、結婚したい時にすればいいのです。比劫でも、食傷でも、財星でも、官星でも、印星でも、結婚できます。本当にしたいという時にできるのが結婚運です。

そういうくぐらない古典的なものをそろそろ卒業して、もって生まれた星を徹底的に発動させて、使って欲しいと思います。

■ 結論

◆ 芸海法の真髓

どうすれば持つて生まれた能力、命式を最高の状態に持つていけるか、つまり芸海法に持つて行くには？です。最高の状態にまで持つて行くにはどうしたらいいのか？命式のすべての星が、常に発動し変化していること。発動して活動していると必ず変化します。

なぜかという、毎日の生活環境が変化しているからです。今の時代はすごい勢いで変化しています。今から20年前は、パソコンと言えばMS-DOS、ウィンドウズはまだありませんでした。ところが今、パソコンというとウィンドウズです。

私がコンピューターの仕事を始めた頃は、ウィンドウズはなかったのです。携帯電話も、最近はスマートフォンで指でやりますね。子供たちは携帯電話という指でやるものと当たり前

※今日は今日、明日は明日、毎日ハツラツと星を発動させて生きていけば、自然と変化に対応してきます。

なっています。

このように、生活環境がどんどん変化しているので、星も発動していれば変化せざるを得ないのです。

◆ 気の滞りは死に至る

一番だめなNGが、気の滞りです。気の滞りというのは、ゾンビで死んでいる人です。具体的には考え方を変えない人、これは50才を超えたら気をつけてください。特に、過去に成功した経験を持っている人はあぶないです。過去これであまくいったからと言って、過去に固執してやり方を変えない人がどんどんおかしくなっています。考え方を変えないということ自体が、気の滞りです。ゾンビ人間です。ゾンビ人間なのだから黙っていればいいのに、かならず不平不満を持っています。そして、批判します。

※変化に対応して努力している人に不安感はなく、変化を受け入れず怠けている人は不満だらけになります。

自分を批判すればいいのだけど、自分以外の誰かを批判します。経営者であれば、社員が悪い、取引企業が悪い、あるいは一般人であれば、政治が悪い、役所が悪い、官僚が悪い、アメリカが悪い、ロックフェラーが悪い、ロスチャイルドが悪いとなつてしまふのです。みんなこういう批判する連中は気が滞つています。

すべての星を発動するというのは、私の事例で言えば、

時柱	辛	宗教
日柱	壬	勝負
月柱	丙	集中
年柱	己	愛情
	天干	発動

年、月、日、時のすべてを発動させないとなりません。

若い時はある宗教団体に入っていました。宗教といえば辛ですね。やがて商売をし始めましたが、先を読んで、人に勝たないと儲かりません、これは壬でしょう。ソフトを作る、本をつくる、というのは細かい集中力が必要です、これは丙でしょう。人を集

■ 十干の発動事例 (他にもあります)

- * 甲.. 思考、考える
- * 乙.. 協調性、調和
- * 丙.. 集中、微細
- * 丁.. 世話焼き、善
- * 戊.. 人情、面倒見
- * 己.. 愛情、育成
- * 庚.. 実績、行動力
- * 辛.. アート、極める
- * 壬.. 勝負、向上心
- * 癸.. 情報、知識

めてセミナーするときには情感、愛情中心の己を発動させます。

全部使うのです。

通変星でいえば、出版とか本を書くというのは、印綬の仕事、商売するのは財、新しいことを学ぶときには、その分野の日本の先生について学ぶというのが官星の能力です。私の官星というのは、マネるのです。理解しないまま真似るのです。

私が投資を始めたのが40才越えてからですから、私のビジョンとしては、15年後の60才越えたら、株式投資だけで飯が食える、という目標を設定しました。じゃあ15年後に、投資だけでメシを食うにはどうしたらいいのか？、15年、20年、30年という、長期の単位で利益を出す手法は何だろうと、50人ぐらいの先生の考え方を色々自分でやってみて、この人だったら真似できるというたつた一人の人の真似を徹底してしました。先ほども言いましたように、マネるというのは理解できませんよ。しかし経験してだんだん利益も出てくるでしょう。

つまり経験したあとから**理解が始まる**のです。トライしてみる

■通変星の発動事例(他にもあります)

- *比肩..張り合う
- *劫財..大胆
- *食神..サービス精神
- *傷官..鋭敏さ
- *偏財..駆け引き
- *正財..貯蓄
- *偏官..改革
- *正官..出世
- *偏印..クリエイティブ
- *印綬..研究

のです。トライして経験して結果が出るでしょう。そして初めて理解ということになるのです。経験のない理解はありえませんが、理解しないままやるのが、官星なのです。官星のある人は理解しなくてもやれるのです。そのほうが成功しますよ。

今も北海道に移住して、全日本で優勝できるレベルの馬を三頭買って、今年から乗馬クラブをスタートさせますが、私の恩師が北海道にいます。彼はチャンピオンです。日本一の馬乗りであり調教師です。

その日本一の先生の言うことは真似るのです。わからないけどやってみるのです。その経験の結果がでますので、その時、理解できるのです。それが官星です。

■十二運星の発動事例(他にもあります)

- *胎・オリジナリティ
- *養・愛情
- *長生・最も活躍する
- *沐浴・チャレンジ精神
- *冠帯・ヒットメーカー
- *建禄・プロフェッショナル
- *帝旺・包容力
- *衰・特殊技術
- *病・直感力
- *死・努力
- *墓・絆
- *絶・離れ業をやつてのける

◆開運をさまざま上げる3つの問題点

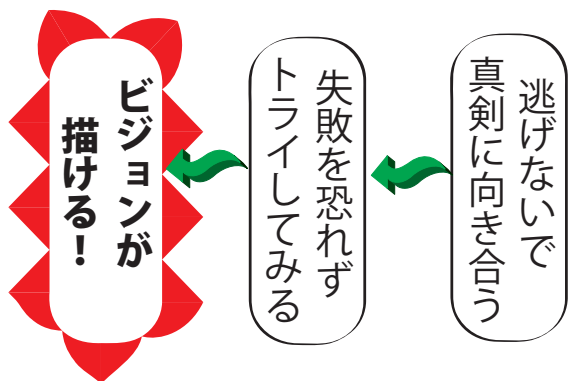
今の人達の問題点が3つあります。

①真剣に人と向き合う

まず真剣に人と向かい合いません。

なぜかというと、自分が傷つきたくないからなのです。人を傷つけないようにと思っっているようですが、偽善です。そのホンネは、自分が傷つきたくないから、適当に分かったふりして自分にウソをつけて、相手に対しての怒りや不満をごまかします。「人を傷つけない、人に迷惑をかけたくない」と。

パワハラとかありますが、私は大賛成です。会社の経営者が、幹部とか社員の言うことを、わざわざコミュニケーションとってわかる必要などないのです。経営者というのは全てに対して責任



持っているのだから、大上段にたつて、これをやれと言えはいいのです。権力をもつてやらせればいいのです。それに従えないというのであれば、クビにすればいいのです。パワハラ大賛成です。

セクハラも、女性は女性という武器を持っているのですから、男性をおだてて仕事をさせる、これは女性の重要な仕事でしょう。

例えば上司が来たら、朝、コーヒーを入れてあげる、お弁当の時もお茶を入れてあげる、ニコツとして『部長、あったかいお茶どうぞ』と言われれば、気分がいいでしょう。それだけで気持ちよく仕事が出るのです。男は単純ですから、そうやってニコニコしながら愛想のいい女の子の笑顔をみたり、気を使ってもらっただけで、頑張れるのですから、女性にも、一役買ってもらいたいですね。

■パワー・ハラスメントとは？

「職場の権力（パワー）を利用した嫌がらせ」のこと。（ウイキペディアより）

■セクシャルハラスメントの分類

（ウイキペディアより）

*対価型セクハラ

・職場や学校などにおける立場・同調圧力・階級の上下関係と自身の権限を利用し、下位にある者に対する性的な言動や行為を行う（強要する）こと。

・酒席での酌の強要。

・職場で昇進を人質に取った性行為の強要

・学校で単位を人質に取った性行為の強要

・取引先との売買契約を人質に取った性行為の強要

・職場で昇進を人質に取った愛人契約の強要

・学校で単位を人質に取った愛人契約の強要

② トライアンドエラー

次は、トライアンドエラーを恐れているということです。

正解のない課題しか、現実の世の中にもありません。正解のある問題というのは、学校の中だけです。ペーパー試験だけです。実際の社会は正解がないのです。トライしてみないとわからないのです。トライしてみても、失敗して変えていくしかないのです。

でも、こういった占いの仕事をしていると、質問の内容は「どうしたらいいのですか?」と、正解を求められます。相談者は、トライしないまま、正解を求めてくるのです。正解が見える場合もあります。しかし、すべての相談者にそれを言ったところで、絶対に実行しません。だって理解できないのですから。

トライして、結果を見てみないと理解できないように人間の仕組みはできているのです。やってもいないのに、トライもしていないのに、理解なんかできるはずもないのです。だからアドバイスしても仕方ないのです。やれと言っしかなないので。「理解できません」、「いいからやれ」と言うだけです。

強要

- ・就職活動を行う学生に対し、応募先企業側の人間が採用選考に関わる事項を人質に取った性行為や猥褻行為の強要
- ・取引先との売買契約を人質に取った愛人契約の強要
- ・体を無理矢理触り、拒否できない職務上の立場を利用していじめ・いやがらせを行う。

*環境型セクハラ

- ・性的な嫌がらせ。
- ・女性従業員による、女子トイレでの男性従業員の容姿や恋人関係などに関する噂話。
- ・男性従業員による、男子トイレでの女性従業員の容姿や恋人関係などに関する噂話。
- ・職場や学校などで、ヌードカレンダー、水着ポスターなど、人によっては不快感を起こすものの掲示、性的な冗談、容姿、身体などについての会話。
- ・恋愛経験について執拗に尋ねること。

③ ビジョンを描けない

今の日本人は、トライアンドエラーに慣れていません。トライアンドエラーに慣れていないからビジョンも描けないのです。

ビジョンというのは、最初から完璧なものはないのです。やってみて失敗して、それを改良しながら、ビジョンがどんどん変化して成功の形を成していくのです。

この失敗・成功、失敗・成功と繰り返していくうちに、どんどんビジョンができてきますが、やらなければ描きようがないのです。やってみれば、その人の成長に合わせてビジョンも変化していくのです。変化しなくなりません。こういうのに慣れていないのです。

慰安旅行での旅館・ホテルなどでの女性への浴衣などの着用の強要。酌の強要。

・性的魅力をアピールするような服装やふるまいを要求すること。

・頻繁に、女性に対して結婚、出産のことを尋ねること。

・男性に対して「男のくせに根性がない」と言う。

・男性をソープランドなどの風俗店におりやり誘う。

・男性への、裸踊りの強要

・女性上司から男性部下への誘い

「男性から男性」「女性から男性」へのセクハラは、近年の日本ではほとんど問題とされず、逆に被害者男性が「男らしくない」「男のくせにそれぐらいで」などとさらなるセクハラに追い込まれる事例も多い。

◆乗馬で開運

この①②③を解決するためには、はっきり言って運命学じゃムリです。机に座って勉強しているだけではムリなのです。だから私は北海道に移住して、『乗馬で開運』という事業を今年からスタートすることにしたのです。

全国の有名な乗馬クラブに通って、色々な乗馬の経験を積んで、だんだんビジョンが明確になってきました。

まず、日本の乗馬クラブのやり方は一切、マネしません。というの、日本の乗馬クラブの乗馬のレベルというのは、先進国で最低だからです。オリンピックに出てくる乗馬の選手たちも、日本に住んでいないですね。ベルギーなどドイツに住んでいます。なぜでしょうか？日本にいたら勝てないからです。

海外では乗馬を始めますと言うと、最初にやることは馬を買うことから始まります。はつきり言っていていい馬は、高級車が一台買えるぐらいの値段がします。

その分、いい馬はIQが高い。EQも高いのです。当然血統

↓御者（思考）



↑馬車（肉体）

→馬（感情）

※『知情意』や『思考、感情、感覚』など、人間の働きを3つに分ける考え方を、思想家のゲルジェフが馬車と馬と御者に例えて説明しています。

証がついています。お父さん、お母さんも素晴らしい馬たちです。そしてきちんとトレーナーによってよく調教されています。人の言うことを理解する能力があります。これがIQ、です。人の指示、人の気持ちを理解して、そのとおりに従おうという気持ちがあります。その理解力がIQ、でマインドがEQです。

ところが日本にいるほとんどの馬たちは、IQも低いし、EQも低いのです。人の言うことを聞こうという気持ちもありませんし、理解力もないです。そういう馬たちは危ないのです。安いかど危険なのです。落馬してケガします。

私も安い馬に乗って、4年前に腰椎を骨折して3ヶ月間ベットの上で唸っていました。安い馬でいいという人は、そういう痛い思いをして経験してください。

私はもう二度とそういう痛い思いをしたくないですから、私の乗る馬は世界基準の馬と決めました。日本ではもちろん全日本選手権で優勝を狙える馬です。

※痛みを肉体が感じて、感情が不快感を示し、思考が対策を考えるといった人間の一連の流れを、乗馬を通じて外から観察することができます。

御者と馬とお互いの肉体が融合されれば、御者の行きたいところに馬は喜んでいくようになります。そこにたどり着くだけの体力もあります。

しかし、御者の目的に馬の感情が不満を示せば、体力的には十分なのに、目的地にたどり着くのは困難になります。もし御者と馬はお互いにわかりあえていたとしても、肉体が欠陥を抱えていなければ進めません。

人生で起きていることが、あからさまになるのが乗馬です。

これらの馬たちは、身体能力ではなくて、IQの理解力、EQの人の気持ちを読んでそれに合わそうとする優しい能力、それがある馬たちです。だから高級車一台分の値段がするのですが、たとえ理解できなくても、そういう馬を買いましたよという乗馬クラブです。

これ実は、アメリカやヨーロッパでは当たり前なのです。乗馬やります、じゃあどの馬買いますか？となるのです。日本のように、体験乗馬から始めましょうと、そしてその馬も、サラブレッド。そのサラブレッドも昨日まで競馬場で走っていたキチガイ馬みたいなものが多いのです。サラブレッドのような気性の荒い競走馬を乗用馬に使うのは、世界中で日本だけです。日本はクレイジーなのです。

私を買ってくる馬は、すべてアメリカ産でクォーターホースという、IQ・EQの高い馬です。人に対して反抗しないし、人の気持ちを理解しようとする気持ちも持っています。そういうクォーターホースしか買いません。

■ IQとは？

IQとは、知能検査の結果を表す数値である。IQは、高いほど知能が高いことを、低いほど知能が低いことをあらわす。

■ EQとは？

心の知能を測定する指標である。心の知能とは、自己や他者の感情を知覚し、また自分の感情をコントロールする知能を指す。

(ウィキペディアより)

三頭、去年はアメリカから買いました。輸送費だけで200万かかります。でも日本にはなかなかそういう馬がいらないです。

馬と真剣に向き合わなければいけなくなりますので、まずは、人と真剣に向き合えない人は、馬と向き合しましょうということです。

乗馬というのは、馬の個性と人間の個性のぶつかり合いです。ゆずれないところはゆずれない、喧嘩してでもゆずれない、こういう話し合いが乗馬です。ですから、真剣に馬と付き合うという習慣がきます。習慣がつくと、人とも真剣に向き合えるようになってきます。ごまかしが一切きかないですよ、馬は。遠慮していたら、馬とコミュニケーションは取れません。

次に、乗馬では、トライアンドエラーをするしか無いのです。やってみないとわからないのです。馬は一頭一頭、みな違います。個性も違うし、身体つきも違うし、骨格も違うし、この馬に対してはこういうふうに乗ったほうがいいというマニュアルなんてあ

馬とぶつかり合い
真剣勝負

トライ
&
エラー



理想へのビジョン

りません。やってみてダメだったら考えるという繰り返しなので、トライアンドエラーの繰り返しです。そういう習慣ができません。そして失敗を喜ぶようになります。

調教というのは、失敗して、だめだよと教えるのが調教の基本なので、失敗してくれないと調教にならないのです。

1時間乗って、馬が2回失敗した場合、2回、調教のチャンスが来るわけです。失敗した、あーよかったこの瞬間に今日は調教ができるということで、「それをやってはだめだよ」馬を叱ります。それを馬が理解すると、明日は良くなっていくのです。だから失敗したら喜ぶようになるのです。がっかりするのじゃないのです。教えるチャンスを得たことで馬が良くなるのですから、嬉しくなるのです。

それを繰り返し返していくうちに自分のビジョン、自分の理想の馬というのが見えてきますから、ビジョンを作る練習にもなります。

人というのは、持って生まれた能力を120%発揮すれば、み

※動物は、ヒヒーンとか、ワンとか、にゃーとか声を発しますが、言葉で何かを伝えることはしません。言葉を使うのは人間だけです。言葉は便利です。しかし、その便利な言葉を上手に使おうとすればするほど、自分の本心から、かけ離れてしまうことがよくあります。そうになると、人の本心に言いたいことも、言葉に惑わされて読めなくなっていくます。

言葉を使わない動物とかかわること、本当は何を求めているのか、どう感じているのか、本心を読み取ろうとする感性を養うことができます。これは、カウンセリングにもっとも必要な感性と言えます。

んなものすごく面白くて楽しい人生を送れるはずなのです。

でも、ほとんどの人は星が死んでいます。死んでいるから暗い顔して、不平不満をいっぱいためているのです。星が発動している人は、みんな幸せそうな顔しています。生き生きしています。どんなに机の上で勉強しても、本を読んでも、人というのは分からないし、経験がないから理解できません。

だからこそ、馬を使って乗馬で開運というのが、私の次の人生のテーマであり、次の事業の中心になっていくのです。

関心のある人は、帯広の郊外まで遊びに来てください。

*真剣に生きると、人の3倍の人生を楽しめます。

*これは、3回、異なる仕事をやるということです。

*一回目はコンピューターソフト、2回は運命学、3回目は乗馬。

*4回目は？、未来予知不可能です。



■フォーチュン牧場

北海道河東郡鹿追町瓜幕西

33線20番地8



2012年5月 JQHA Classic

日本クォーターホース協会主催・公認の競技会



SIR WHIZ N NIC



TAKETWO CALLME LATER

第九章

未来予知は必要か？



■未来予知は必要？

私の生年月日は、1959年12月26日生れです。

1959年	12月	26日	13時30分
己	丙	壬	辛
亥	子	午	丑
天干			地支

男命で年柱が陰なので、この命式の大運は、逆行します。

そして、節入り日から17・8日経過しています。

これを3で割って立運を出すと、7才から大運が始まります。

四柱推命

己:偏官	癸	辛:偏印	戊:正官	天干
未	酉	酉	午	地支
(木火土)	(金)	(金)	(火)	
丁	乙	己	庚	辛
偏財	食神	偏官	印绶	偏印
墓	病	病	絶	十二運

命式と大運の合沖 命式と年運の合沖 命式と月運の合沖

十干気字 旧暦 平月 6/6 六曜 先勝
 大運は生まれた日から、0年の9カ月後に始まります。
 節入り日 8日 9時
 節入り日からは0.1日で次の節入り日まで30.5日です。
 宿曜経 尾宿

蔵干 納音 特殊星

五行の強さ
 8
6
4
2
木

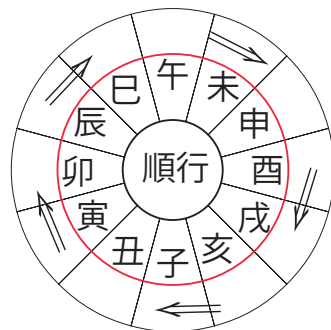
数字年は生まれた年が1才です。

大運の細かい計算は星平会海プロ版の四柱推命画面に出てきます。

と運が変化します。

7才 <small>う</small>	6才 <small>う</small>	5才 <small>う</small>	4才 <small>う</small>	3才 <small>う</small>	2才 <small>う</small>	1才 <small>う</small>	7才 <small>う</small>	年齢域
戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	大運天干

この大運は、月柱の丙月から始まります。本来は丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、甲、乙、・・・と流れるのですが、これは順行です。逆行の場合はこの逆まわりになります。



通変星は、

7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	年齢域	大運天干	通変星
7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	戊	己	庚
7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	辛	壬	癸
7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	甲	乙	傷官
7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	偏官	正官	偏印
7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	印綬	比肩	劫財
7才	6才	5才	4才	3才	2才	1才	7才	食神	傷官	偏官

となります。

ここで、気が付かないといけないことは、丙月に生まれたのですが、その一ヶ月前が乙、その前の月が甲、癸、壬・・・と、生まれた月を一ヶ月さかのぼることに、10年毎の未来予知する仕組みなっているということです。

一ヶ月・・・10年としてみています。

～1ヶ月～

3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日	3日
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年

～10年～

12ヶ月で120年先まで予測

3日・・・1年です。

生まれてから3日後を1年後と考えましょう、という仮定のもとに作られているのが大運なのです。その仮定の仕方は、他にもたくさんあり、6日で1年と言っている人もいます。

3日で1年先を占うということは、どういうことなのでしょう？生まれてからの12ヶ月間でその人の120年間の人生が決定されるといつているのです。

今年の運勢は？といった時に、1月1日から12日までの運勢の12日間を、1日を一ヶ月と考えて一年間に展開したのが未来予知だということ、発想は同じなのです。

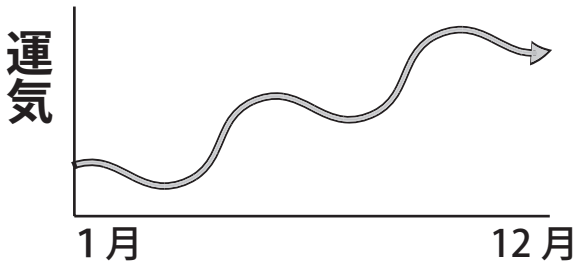
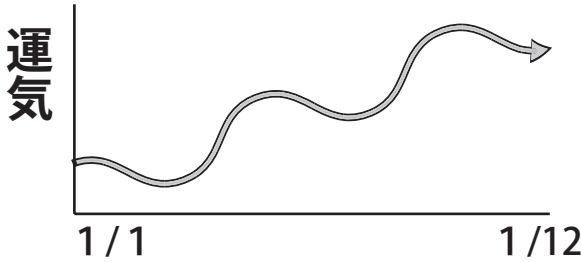
そういう理屈があるということで、大運を信じるか信じないかを決めて欲しいのです。

※未来予知というのは、具体的にあればあるほど、それを予知した人に引き込まれていきます。

一部の霊能者（霊能にも色々な種類があります）に洗脳されるのも同じです。彼らは実際の出来事を、テレビの画面を見るように見ることができるので、それをそのまま伝えるだけで、一瞬にして大衆は彼らのとりこになってしまふのです。占いで過去の出来事を次から次から当てて、さらに未来を予測するのも同じで、占う側も占われる側も、その信奉者となっていくます。

しかし、こう言った具体的な未来予知をして、人生をより良い方

仮想進軍法（大運）の考え方



向に導いた人はいません。なぜならば、そのリアルな未来の映像の中に、予言者も相談者も完全に閉じ込められてしまうからです。

未来を予知するという行為に希望はないといえるでしょう。予知を信じてしまった時点で、それは固定されて変化することができずに、止まってしまうのです。固定化＝死というこの書籍の云わんとしていることそのものです。

未来を具体的に当てるという行為には、人の成長を願い導く気持ちも、能力もありません。あるのは閉塞感のみです。

77才 <small>く</small>	67才 <small>く</small>	57才 <small>く</small>	47才 <small>く</small>	37才 <small>く</small>	27才 <small>く</small>	17才 <small>く</small>	7才 <small>く</small>	年齢域
戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	大運天干
偏官	正官	偏印	印綬	比肩	劫財	食神	傷官	通変星
何をやるかは、まったく予知不可能です。		これからです。		47歳頃からビデオ講座、本を作り始めました		会社を作って独立しました		子供時代はたしかに傷ついていた
				めちゃくちゃ仕事をしていました		大学入ってからしばらくは、食神で遊んでいました		

それでも人は、先のことを知りたいという欲求があります。その場合、未来予測の背景にある陰の部分に目をやることをおすすめます。未来を知ったことでどうするか、もしそうだとした場合、何を求められているのか、なぜ今それを知らされたのか、その背景を読み解き、自己の成長につながるように工夫してください。

こういった意識をもつことは、何も未来予測に限らず対人関係でも、仕事でも、何でも同じです。過去も現在も未来も、前世も現世も来世も、結婚も、相性も、職業も、親子関係も、すべての出来事は開運へとつながっています。

ちなみに私の場合は、7才から17才、子供時代はたしかに傷ついています。

大学入ってからしばらくは、食神で遊んでいました。

サラリーマンになってからは劫財、めちやくちゃ仕事をしていました。

37才から比肩、この時に会社を作つて独立しました。

47才から印綬、確かに47歳頃からビデオ講座、本を作り始めました。

というように合っているのですが、だからといって予知をするためになるのです。

大運というのを振り返ってみて、振り返ってみたら当たっていた、というのがいいのです。

それが運の良い人。

予知するとだいたい運が下がります。

未来を恐れず、何が起きても己の力を信じて前進していけるように、日々を精一杯、過ごすことが大切です。

未来予知を気にしていると、タフになれません。

十二運星を實と虚で理解する

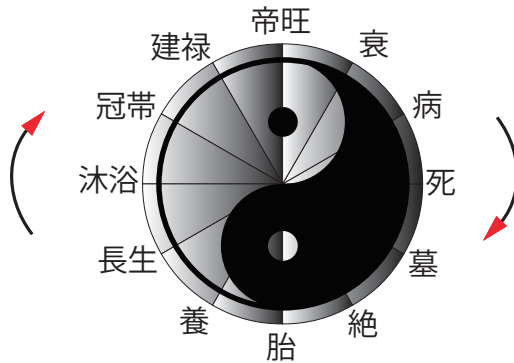
十二運星は、実と虚で分類していきます。

十二運星は、胎から帝旺までは昇っていく時期なので陽的です。社会の頂点を目指して上昇志向が強く、活動的です。

衰から絶までは鎮まっていく時なので陰的です。活発な社会活動が徐々に落ち着き、精神面の充足に向かっていきます。

陽のなかに、また陰陽があります。陰の中に、また陰陽があります。陽は活動的で表に出ている部分です。陰は内向的で裏側に広がっている部分です。

十二運星の説明では、『実・虚』の偏りを主にみていきます。その中に、陰陽を見つけていってください。



	<p>■甲の一生</p>
	<p>■乙の一生 ①</p>
	<p>■乙の一生 ②</p>
<p>※詳しくは未巻の四柱推命資料をご覧ください。</p>	

◆十二運星は、十干と十二支の組み合わせで成り立っていますが、星の導き出し方に、二つの方法があります。

①『陰陽同一方式』と、②『陽生陰死方式』です。どちらも、日干が陽干の場合は、十二運星は変わりませんが、陰干の場合は、全く違ってくる。十二運星は、人の一生に例えられています。十干の一生と言いつてもいいでしょう。それぞれの十干が、十二支の地を旅しているとして、どの地（十二支）に入ると、エネルギーが一番強くなるのか？、一番強まるところが『帝旺』となります。まずは、帝旺がどこかを見定めます。その真反対が、魂が降りてくる『胎』です。

そして、この決め事に2種類あるということなのです。左図一番上が、甲の一生です。帝旺は卯です。甲は陽干なので、①『陰陽同一方式』でも、②『陽生陰死方式』でも、十二運星は変わりません。しかし、中段と下段の図は、陰干の乙ですが、帝旺と置く十二支が、①『陰陽同一方式』が卯、②『陽生陰死方式』が寅としています。また、十二運の回り方も、時計回りと反時計回りの反対方向に進むようになっていきます。

◆長生【今、最高に役に立ちたい】

*実…活発、若々しい。

*虚…若々しいのだが世間を知らない、口だけ、または活発さも若々しさもない場合は人の言いなりになります。

長生が実の状態

- ・ 社会的で商売上手。
- ・ 自分も儲けて相手も儲けて。
- ・ すぐに役立つ実用書を好む。
- ・ 流行に敏感でおしゃれ。
- ・ 過去のことにこだわらない。
- ・ 人の話を横取りする。人の手柄を横取りする。
- ・ お調子者。合理的。
- ・ 将来の見通しが甘い。

時間感覚	過去も未来も関係ない、現在のみ
行動スタイル	周囲に順応して孤立しない
職業	技術系・芸能系・トップよりサブの立場
必要な環境	よい指導者がいる環境
人生	出会う上長によって開花の時期が異なる

長生が虚の状態

- ・退却、縮小を平気でやる。
- ・必要とされなくてもいい。
- ・非社会的で引っ込み思案。
- ・自分だけ儲かればいい。
- ・流行に鈍感。おしゃれに気を使わない。
- ・過去のことについてまでもこだわる。
- ・人の話を聞いていない。
- ・人の手柄を妬む。
- ・人を利用する。
- ・将来のことが不安で仕方がない。

壬申	庚巳	戊寅	丙寅	甲亥	陽干		長生の干支
癸申	辛巳	己申	丁寅	乙亥	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸卯	辛子	己酉	丁酉	乙午	陽生陰死 (泰山)		

◆沐浴【結果に悔いを残さない】

- *実…変化、新しいこと、革新的なことをやっていく。
- *虚…単なる移り気、根性がない。

沐浴が実の状態

- ・チャレンジ精神旺盛。
- ・一を聞いて十を推理する能力。
- ・万事、イエス・ノーで決め、あっさりしている。
- ・失敗してもクヨクヨしない。
- ・物事のポイントをつかむのがうまい。
- ・頭の中は計算機。
- ・粘りに欠け簡単にあきらめる。
- ・欲しいものはすぐ買う。竜頭蛇尾。謝らない。

時間感覚	過去・現在
行動スタイル	社会を意識して思い立ったら、即、単独行動
職業	保守的より革新的なもの・上長の地位
必要な環境	着実に堅実に一途に進める環境
人生	親縁からの独立が早く、変化の多い人生

沐浴が虚の状態

- ・新しいことにチャレンジしない。
- ・理解力が弱い。
- ・迷ってばかりで行動できない。
- ・イエスカノーかはつきりしない。
- ・いつまでも失敗を悔やんでいる。
- ・物事の要点がどこにあるのか見ようとしない。
- ・数字に弱い。
- ・煮え切らない。
- ・しつこい。
- ・他人の目を気にしてコソコソする。
- ・石橋を叩いても渡らず変化のない日常。

壬酉	庚午	戊卯	丙卯	甲子	陽干		沐浴 の干支
癸酉	辛午	己酉	丁卯	乙子	(透派) 陰陽同一	陰干	
癸寅	辛亥	己申	丁申	乙巳	(泰山) 陽生陰死		

◆冠帯【最先端をいく】

*実…華やかさ、パフォーマンス、自分をカッコ良く見せる。

*虚…人目ばかり気にして、カッコばかりつけている。

- ・新しもの好き。流行をいち早くキャッチする。
- ・お体裁屋・メンツを大切にする。
- ・何でも一工夫する。
- ・人付き合いがよく、協調性がある。腰が低い。
- ・世情に明るく、社交的。
- ・芸術的センスがある。
- ・感性は豊か。ヒットメーカーの素質。
- ・汗水流して働く肉体労働を嫌がる。
- ・人の悪口は避けるが批判はする。

時間感覚	現在から未来に意識が向く
行動スタイル	社会に受け入れられるように振舞う
職業	地味な仕事以外なら、何でもこなせる
必要な環境	実力以上の地位に置かれやすいので、努力を怠らない環境が必要
人生	亭主関白・カカア殿下になりやすい。

冠帯が虚の状態

- ・ 体裁、体面をまったく気にしない。
- ・ 話し合いができない、人を見下す。
- ・ 流行に鈍感で野暮ったい。
- ・ 人見知りで自分から話しかけない
- ・ 安物買いの銭失い。
- ・ 一工夫するのを面倒がる。
- ・ 芸術的センスがない。
- ・ 未来に無関心。
- ・ 肉体労働を嫌がる。
- ・ 人の悪口を言い出したら止まらない。
- ・ 話が長くて、内容がよくわからない。

壬戌	庚未	戊辰	丙辰	甲丑	陽干		冠帯の干支
癸戌	辛未	己戌	丁辰	乙丑	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸丑	辛戌	己未	丁未	乙辰	陽生陰死 (泰山)		

◆建禄【完璧でなければならぬ】

*実…ムダのない動き、現実に対応。

*虚…視野が狭い、こせこせしているだけ。

建禄が実の状態

- ・旺盛な知識欲があり、その努力は相当なもの。
- ・理屈に強く、弁舌はさわやか。
- ・人前で決して弱音をほかない。
- ・自分にも他人にも厳しい。公私混同を嫌う。
- ・他人との優劣をつけたがる。
- ・権威ある人物、事柄を好む。
- ・皮肉は天下一品。
- ・完璧主義なので自分の仕事は一切他人に触らせない。
- ・人を見下す。
- ・実力のある人ほど謙虚に振舞う。
- ・協調性はまったくない。

時間感覚	現在に生きる
行動スタイル	社会性を意識して礼節に振舞う
職業	批評、批判、高度の技術が要求される専門職
必要な環境	協調性が足りないので、自分ですべてできる技術を磨ける環境が必要
人生	人との和合が若いうちはなかなかできないので、晩年型

建禄が虚の状態

- ・プロフェッショナルになろうとしない。
- ・大雑把。
- ・納得しなくても妥協して人に合わせる。
- ・中途半端で人に頼る。
- ・愚痴を言う。
- ・他人を厳しく批判する。
- ・思ってもいないお世辞を言う。
- ・だらだらした雰囲気、緊張感がない。
- ・皮肉屋。
- ・失敗しても平気な顔をしている。
- ・意志が弱い。
- ・お調子者で人の顔色で態度が変わる。

壬亥	庚申	戊巳	丙巳	甲寅	陽干		建禄の干支
癸亥	辛申	己亥	丁巳	乙寅	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸子	辛酉	己午	丁午	乙卯	陽生陰死 (泰山)		

◆帝旺【成せばなる】

*実…勢いがある、大らか。

*虚…ぼーっとしているだけで何もしない。力もないのに自惚れているだけ、単なるボケ

帝旺が実の状態

- ・博愛精神の持ち主。
- ・平等意識。
- ・義理人情に厚く、義理人情にもろい。
- ・ざっくり全体を把握してから細部に目をやる。
- ・温厚。おだやか。
- ・頭領運がある。人の下につくことはない。
- ・一見のんびりしており、行動が遅い。蛍光灯。
- ・即断即決はできない。
- ・最高のもの以外興味が無い。

時間感覚	現在と未来に生きる
行動スタイル	社会全体を見通してあわてず行動
職業	頭領運 トップに立つよう努力するべき
必要な環境	ほっておくと何もしないので、無理にでも動かなければいけない環境に追い込むこと
人生	親元はなるべく早く出たほうが成功しやすい

帝旺が虚の状態

- ・細かいことにこだわる。
- ・えこひいきする。
- ・損得で物事を決める。
- ・高い視点で全体を見通すことができない。
- ・他人の意見に左右される。
- ・ピリピリしていて神経質。
- ・先頭に立たされるとオドオドする。
- ・すぐ弱音を吐く。
- ・頼られると逃げる。
- ・臆病で依頼心が強。
- ・手頃なところで間に合わせてしまう。

壬子	庚酉	戊午	丙午	甲卯	陽干	帝旺の干支	
癸子	辛酉	己子	丁午	乙卯	陰陽同一 (透派)		陰干
癸亥	辛申	己巳	丁巳	乙寅	陽生陰死 (泰山)		

◆衰【信じるな、疑うな、確かめよ、】

*実…冷静、安定を求める、淡泊。

*虚…無関心、何ごとともはつきりしない。

- ### 衰が実の状態
- ・ 保守的で、やや非社交的。
 - ・ 古いものを好む。
 - ・ 経験と実績を積み上げていくタイプ。
 - ・ 学問、技術、研究分野に向く。
 - ・ 特に特殊な技能を身につけるとよい。
 - ・ 経験をつむために行動する。
 - ・ うっかり忘れ物が多い。
 - ・ なかなか他人を信用しない。
 - ・ 目で見て、体験して、自分で確かめないと納得しない。

時間感覚	過去から現在に生きる
行動スタイル	周囲の調和を乱さないように行動する
職業	実績がモノを言う技術や研究の世界で活躍
必要な環境	どんどん新しい経験を積み重ねる、行動的な環境
人生	保守的なので大器晩成型

衰が虚の状態

- ・カッコばかり気にして中身が無い。
- ・行き当たりばったりで一貫性がない。
- ・伝統を大事にしない。
- ・子供っぽく落ち着きが無い。
- ・コツコツと努力するのが苦手。
- ・行動力がなく、自分で確認しようとしめない。
- ・知らないことは人任せ。
- ・経験が浅い。
- ・実体験に基づく話題がない。
- ・すぐやっつけてすぐやめる。
- ・自由気ままな生活を望む。

壬丑	庚戌	戊未	丙未	甲辰	陽干		衰の干支
癸丑	辛戌	己丑	丁未	乙辰	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸戌	辛未	己辰	丁辰	乙丑	陽生陰死 (泰山)		

◆病【すべては理想社会実現のために】

*実…巧妙、これは先を見る力なので変化に敏、目ざとい。

*虚…不安ばかり、先を読めば読むほど不安になるのに先を読もうとする。

病が実の状態

- ・ 敏感で感受性が強い。
- ・ 直観力が鋭い。
- ・ 愛想がよく笑顔がことのほかすばらしい。
- ・ 心配性で、あれこれ考えすぎる。
- ・ 他人の評価は、使えるか、使えないかで決まる。
- ・ しっかりと自分に返ってくるお金の使い方をする。
- ・ 計算高く、自分の利益は確保する。
- ・ ウラ情報を好む。
- ・ ほめ上手。
- ・ 汚いもの、だらしのない人を極端に嫌う。

時間感覚	過去から現在に意識がある
行動スタイル	調和を装うが実際の行動は単独を好む
職業	知的・芸能・技術方面に伸びる
必要な環境	精神的に安心できる空間や時間が必要
人生	若い頃は、病弱であったり臆病であるが、それを克服して丈夫になる

病が虚の状態

- ・神経が鈍く、反応が遅い。
- ・インスピレーションを信じない。
- ・ものの言い方ストレートで含みがない。
- ・じっくり考えることができない。
- ・付き合う人は自分を援助してくれる人だけになる。
- ・したたかに人を操る事を考える。
- ・気分屋で神経質。
- ・うまくいかないと他人を恨む。
- ・お金の使い方が下手。
- ・読みが浅い。
- ・病弱で寝てばかり。

(・例えば地震が来るとして、家が津波で流されると予測したら、高台に家を買おう、しかしそんな予算はない、じゃあどうするか、船を家の庭に作ってしまおう、そんな人です。)

壬寅	庚亥	戊申	丙申	甲巳	陽干		病の干支
癸寅	辛亥	己寅	丁申	乙巳	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸酉	辛午	己卯	丁卯	乙子	陽生陰死 (泰山)		

◆死【不言実行】

*実…コツコツやっつけていく向上心、秩序がある。
 *虚…コチコチ頭、同じことばかりやっている。

死が実の状態

- ・コツコツと努力する。
- ・口下手で一本気。
- ・年期を要する根気勝負に強い。
- ・時間をかけてプロフェッショナルになる。
- ・実行力、工夫力に優れる。
- ・記憶力が抜群によい。
- ・人前で努力している姿を見せるのを嫌う。
- ・耳がいい。遠くの人の会話も聞いている。
- ・自分のことは自分でやる。
- ・お節介を焼かれるのを嫌がる。

時間感覚	過去よりも未来よりも、現在に生きる
行動スタイル	コツコツとひたすら努力して単独行動を好む
職業	長期的忍耐力の要する根気仕事
必要な環境	自分の話を、最後まで聞いてくれる人がいる環境、軌道確認ができる
人生	一足飛びではなく、堅実に晩年花開く

死が虚の状態

- ・人が見ているときだけ一生懸命なふりをする。
- ・口からでまかせを言う。
- ・今、何もしないで、未来のイメージだけ語る。
- ・要領よく立ち回ろうとする。
- ・誰にでもできることしかやらない。
- ・記憶力が悪い。
- ・努力家をけなす。
- ・すぐ飽きる。
- ・根性がない。
- ・非現実的な夢ばかり追う。

壬卯	庚子	戊酉	丙酉	甲午	陽干		死の干支
癸卯	辛子	己卯	丁酉	乙午	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸申	辛巳	己寅	丁寅	乙亥	陽生陰死 (泰山)		

◆墓【華より絆】

***実**…コツコツためる、貯める能力は人脈作りにも発揮される。
***虚**…単なる古臭い人。融通がきかない。吝嗇。

墓が実の状態

- ・経済観念が発達している。
- ・しみじみとした渋み。
- ・信用を重んじるので、約束事は必ず守る。
- ・社交家で如才ない人付き合い。
- ・常識人で、限られた行動範囲。
- ・友人関係を大切にす。
- ・人付き合いにお金を使う。
- ・貯めるのが好き、お金と人脈と情報をためる。
- ・本音をなかなか言わない、見せない。隠す。
- ・地味。華がない。

時間感覚	過去から現在に生きる
行動スタイル	自己主張は持つが調和を重んじて行動
職業	実業界や大企業よりも個人企業向き、又は形而上方面に伸びる
必要な環境	実利より精神面を伸ばす生活環境が必要
人生	人生の後半にいぶし銀の魅力が生きてくる

墓が虚の状態

- ・金遣いが荒く儉約できない。
- ・貯金がまったくない。
- ・思っていることをストレートに言う。
- ・チャラチャラしている。
- ・身の回りを贅沢品で豪華に飾る。
- ・横柄で謙虚さが無い。
- ・今、利益になる人しか付き合わない。
- ・考え方が子供っぽい。
- ・口が軽い。
- ・ものを大切にしない。

壬辰	庚丑	戊戌	丙戌	甲未	陽干	墓の干支
癸辰	辛丑	己辰	丁戌	乙未	陰陽同一 (透派)	
癸未	辛辰	己丑	丁丑	乙戌	陽生陰死 (泰山)	
						陰干

◆絶【自由に羽ばたくべき】

*実…昔からやっていることを破り新しく改革する。

*虚…いろんなことを言うだけで何もしない。

- ・あれこれ詮索することなくあっさりしている。
- ・短気で飽きっぽい。
- ・勘がいい。
- ・その場、その場の空気のみごとに読み取る。
- ・ルーティンワークは向かず、組織にも向かない。
- ・いくつかの仕事を同時にきりもりできる。
- ・秘密、隠し事ができない。
- ・礼儀正しい、礼儀にうるさい。上下関係にうるさい。
- ・気分が動くので、周りが振り回される。
- ・大まかなほうが物事を理解するタイプ。
- ・とにかく面倒臭いことが大の苦手。

時間感覚	現在と未来に意識が向かう
行動スタイル	世の中の流れに逆らわず順応しながら行動
職業	芸術・芸能・技術・客商売に才能
必要な環境	静かなところより、騒がしく繁忙な環境がよい
人生	現実に執着の少ない人生で、浮き沈みが多い

絶が虚の状態

- ・一から十まで聞かないとわからない。
- ・ノリが悪い。
- ・反応が鈍い。
- ・カンが働かない。
- ・空気読めない。
- ・不器用。
- ・あいさつができない。
- ・引きこもる。
- ・平凡な人生。
- ・組織の歯車でいいとあきらめる。
- ・ロマンがない。

壬巳	庚寅	戊亥	丙亥	甲申	陽干		絶の干支
癸巳	辛寅	己巳	丁亥	乙申	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸午	辛卯	己亥	丁子	乙酉	陽生陰死 (泰山)		

◆胎【己の信じる道を歩むべし】

***実**…十分に用意する、その結果新しいことをスタートする。

***虚**…夢を追いかけたいというクセだけでなにもしないので文句

いう、サラリーマンでは用いられない。

胎が実の状態

- ・オリジナルを愛する。
- ・考えることが得意。
- ・将来の計画を練るのが楽しい。
- ・未来に向けて準備万端。
- ・立ち直りが早い。
- ・人からの指図を嫌う。
- ・□先だけの人を嫌う。
- ・細かい注意力のある人を好む。
- ・方針が決まるまで迷いが多い。
- ・見たまま、聞いたままを信じる。
- ・口が軽い。

時間感覚	現在～未来 特に未来
行動スタイル	単独行動を好む
職業	自由な仕事、単調な肉体労働は頭を使う仕事の合間にならできる、官庁仕事は向かない
必要な環境	自由で束縛されない環境
人生	大器晩成型

胎が虚の状態

- ・ オリジナリティがまったくない。
- ・ 人に媚びる。
- ・ 一人で考えるようとしなくて、すぐ人に聞く。
- ・ 将来のことを何も考えていない。
- ・ 新しいことに無関心。
- ・ ぎりぎりにならないと準備しない。
- ・ いつまでもイジイジ悩んでいる。
- ・ 大雑把で、大まかで、注意散漫。
- ・ 安易に人のマネをする。
- ・ 人を疑う。
- ・ 計画をたてるのを億劫がる。
- ・ 時系列がバラバラ。

壬午	庚卯	戊子	丙子	甲酉	陽干		胎の干支
癸午	辛卯	己午	丁子	乙酉	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸巳	辛寅	己亥	丁亥	乙申	陽生陰死 (泰山)		

◆養【愛より尊いものはない】

*実..努力家で前向き。

*虚..何もしない、怠け者、

養が実の状態

- ・新しく事業を興すよりも、受け継ぐ方が向いている。
- ・正直者で、思ったことをそのまま言う。
- ・なじみの人、なじみの服、なじみの店を好む。
- ・甘えたり甘えられたり。
- ・親しい人に心のこもった贈り物をする。
- ・無神経な人にはズケズケ言ってしまう。クレーム魔。
- ・電話魔。長電話。
- ・話し好き。

時間感覚	過去から現在に意識がある
行動スタイル	周囲と調和的に行動する
職業	安定した仕事 新規よりも継承型
必要な環境	愛情深い母親に育てられるとよい
人生	初年運 比較的早めに運が開く

養が虚の状態

- ・単独行動が多くなる。
- ・人の気持ちをわかってうとしない。
- ・笑顔がなく無愛想。
- ・ツンツンして気取っている。
- ・用件だけでさっぱりしすぎている。
- ・気に入らないことがあるとその場で言わず、根に持つ。
- ・人情的なふれ合いを好まない。
- ・疑い深くなる。
- ・感情を押さえこんで、計算高くなる。

壬辰	庚辰	戊丑	丙丑	甲戌	陽干		養の干支
癸未	辛辰	己未	丁丑	乙戌	陰陽同一 (透派)	陰干	
癸辰	辛丑	己戌	丁戌	乙未	陽生陰死 (泰山)		

◆すべて自分の責任で発動させる

古典的な四柱推命は卒業してください。特に四柱推命の構成で、日干だけが自分、時柱は目下、月が家庭運、年が社会運といった考え方をやめないといけないです。

すべての星が自分に与えられたミッションなのです。

年柱	己	亥	社会運と決め付けない
月柱	丙	子	家庭運と決め付けない
日柱	壬	午	自分の性情はここだけだと決め付けない
時柱	辛	丑	目下と決め付けない

これは私の命式ですが、時柱の辛も自分、目下じゃないです。日柱の壬も自分、月柱の丙も自分、家庭運じゃないです。年中の己も自分、社会運じゃないです。すべて自分です。

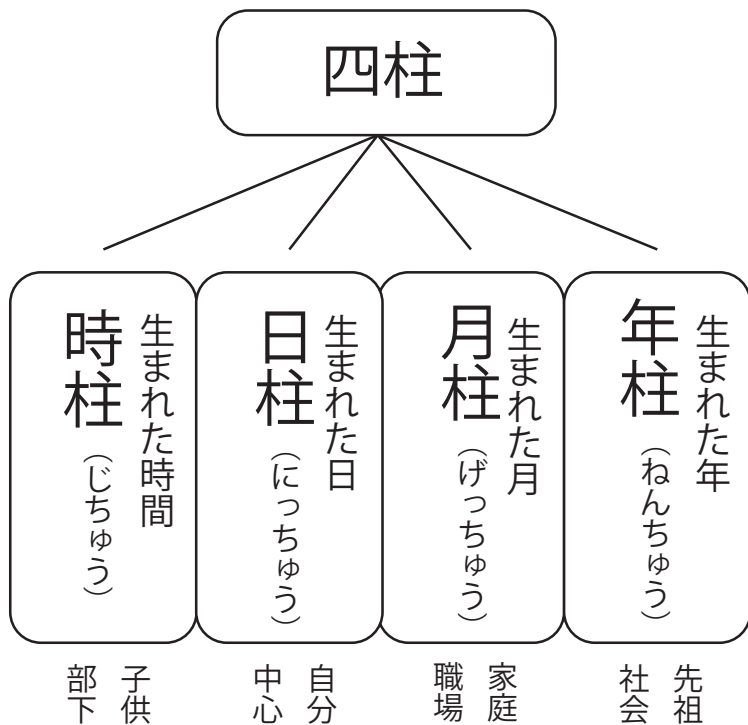
日干の壬が一番軸とはなっています。丙の集中力、公明正大、腹に一物もない、名声、これも自分です。己の、情感、愛されたい、感情的、これも自分です。辛の精神性、宗教性、辛抱など、すべてが天から与えられた自分の星です。これを、目下が辛、社会運が己、家庭運が丙とやってしまうからおかしくなるのです。全部発動させればいいのです。

辛は印星になりますが、こういった本を作ったり教材を作ったり研究したりするのは印綬の特性です。目下じゃなく、自分の個性なのです。今やっている仕事にこの印星を活用しているのです。

月柱に丙の財があります。家庭が財ではなく、世の中の動きを読んだり、市場を洞察したりするときに、この財を使って仕事に活かしているのです。

己と壬で正官ですね、折り目正しく何かに従うのは、これも私の仕事運です。何かに従う、これも私の才能です。全部の要素、それを全部活かせばいいのです。

四つの柱のすべてが、社会運であり、家庭運であり、目下運でもあるのです。それをバラバラにして、社会運は年柱を見る、などとやっているから、おかしいことになるのです。



◆四つの柱の意味

*年柱の意味

先祖、生まれた家系、遺伝、社会への 自分の態度、目上との関係など

*月柱の意味

家族、家庭、基本的な性格、適職、その人の一生を左右する重要な柱

*日柱の意味

自分自身、日干は精神、日支は肉体、配偶者縁、中心

*時柱の意味

幼児期と晩年運、子供、目下・部下運、子供、目下、部下への態度、

古典的にはこのように分類して推命をしています。